

# 中村耳鼻咽喉科だより

## きゅうせいちゅうじえん 急性中耳炎

VOL.18

### ▽急性中耳炎の主な症状

**耳が痛い!**

最も典型的な症状。耳のふさがった感じや、耳だれが出る。

**発熱**

高熱(38.0℃~40.0℃)が出ることもある。

**機嫌が悪い  
いつもと違うしぐさ**

赤ちゃんの場合は、グズったり、急に泣き出したり、耳をよく触ったり、頭を振ったりなどして、症状を表現していることがある。

### ▽急性中耳炎とは?

風邪が原因であることが多い。鼻やのどに付着したウィルスや細菌が、耳管という細い管を通して中耳に入り、感染することにより起こります。特に乳幼児では感染に対する抵抗力が弱く、耳管が十分に発達していないため、ウィルスや細菌が進入しやすく、急性中耳炎が起こりやすくなります。

◆中耳炎とは・・・  
耳は大きく外耳、中耳、内耳の3つの部分に分けられます。このうち鼓膜の奥にある空洞になっている部分を中耳といい、中耳炎はここに炎症が生じることによって起こる病気です。

◆急性中耳炎は難しい病気ではありませんが、完全に

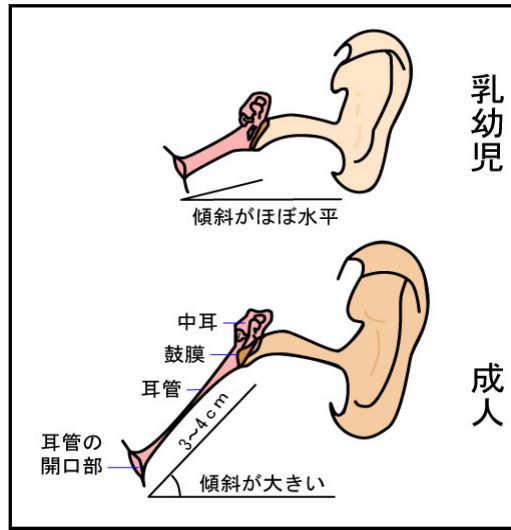
治さないと滲出性中耳炎(難聴の原因)になることがあります。また最近治りにくい病原菌(耐性菌)によるものも見られます。しっかりと治療しましょう。

### ▽急性中耳炎の治療法

\*薬物療法・・・原因となっている細菌の増殖を抑えるために抗菌薬(飲み薬や点耳薬)を投与します。熱や痛みがひどいときは、解熱薬や鎮痛薬を投与します。

\*鼓膜切開・・・化膿して中耳に膿(うみ)がたまったときは、鼓膜を切って膿を出すようにします。鼓膜は切っても自然にふさがりますから、心配はいりません。膿が出た後は、清潔にして、完全に治るまで抗菌薬を投与します。

●子供の耳管（中耳と鼻の奥をつないでいる管）は太く短く、鼻や喉の病原菌が入りやすいため、小さな子供ほど急性中耳炎にかかりやすいのです。また鼻や喉に炎症があると急性中耳炎になりやすいのです。



●お母さんからもらった免疫力がある生後6ヶ月まではかかりにくいのですが、それ以降2歳ぐらいまでが特にかかりやすいと考えられます。

## お母さん達からの多い質問



**Q 鼓膜切開をすると難聴になりませんか？**

鼓膜を2ミリほど小さく切開して排膿することを鼓膜切開といいます。切開部分は数日で閉じますので、難聴になることはまずありません。

切開後急速に良くなる場合が多く、急性中耳炎の処置法としては有効な手段です。

**Q 中耳炎を繰り返しても大丈夫でしょうか？**

成長とともに（だいたい7〜8歳ぐらい）かかりにくくなります。最近の治療では、頻回に切開をしたり、抗生剤の投与を続けても、中耳炎を繰り返す反復性中耳炎の場合には、鼓膜換気チューブの留置手術を勧めることもあります。

**Q 急性中耳炎のとき、お風呂には入ってもいいの？**

痛みが落ち着いて熱もなければ、お風呂に入っても大丈夫です。耳に水が入らないように注意して下さい。鼓膜切開後や鼓膜に穴が開いていた場合は、耳だれが出なくなった時が穴が閉じた目安になります。

**Q 生活する上で気をつけることは？**

生活は普通どおりで大丈夫です。食べ物にも制限はありません。感染症ではないので、熱が無ければ保育園や幼稚園に登園しても大丈夫です。



不安なことやわからないことは、何でも医師や看護師にご相談くださいね！